千代田小学校　教育目標「未来をかしこく 心豊かに たくましく生きる子供を育てる」

千代田っ子

学 校 だ よ り
令和６年度
第１１号
令和７年２月２６日

「自立」

校　長　　倉　橋　昭　彦

今年度も残すところ１ヶ月と少しとなりました。まだまだ冬らしい寒さの日もありますが、季節は確実に春に向かっています。３学期に入って本校では、２学期の学級閉鎖が嘘のように、インフルエンザが大きな流行にはなっていません。

教育基本法　第二章　教育の実施に関する基本　（義務教育）　第五条２
「義務教育として行われる普通教育は、各個人の有する能力を伸ばしつつ社会において自立的に生きる基礎を培い、また、国家及び社会の形成者として必要とされる基本的な資質を養うことを目的として行われるものとする。」（アンダーラインは倉橋が入れました）

学校は、試行錯誤を繰り返しながら子どもたちに「自立の力」を育んでいこうと日々の教育活動を展開しています。学年に応じて、あるいは子どもたち一人一人に応じて先生たちは考え、実践を積み重ね、「今日はぴったり合っていたな！」とか「今日はちょっと手をかけすぎたかな？」とか「今日は難しくて混乱させたな。」･･･というふうに振り返り、明日へとつなげていきます。

子どもたちも、「自立的に生きる基礎」や「基本的な資質」というのは、簡単に身についていくものではなく、「今日は〇〇が出来た･･･」からといって、明日出来るとは限りません。ある力が身に付くまでには、子どもたちも行ったり来たりの試行錯誤を繰り返します。
「教育」というのはなかなか効率よくいかないものです。でも、きっとこのことが「教育の良さ」でもあると感じています。

それでは、「自立する」ってどういうことなのでしょうか？私もいろいろな書籍を読んだり、講演などを聴いたりして一番しっくりしているのが以下の内容です。

一、自分でできることが増えていくこと
一、困ったことやわからないことがあると、そばにいる人に「助けて」と言えること、また、相手に伝わるようにそのサインを出せること
一、振り出し（または、ある地点）に戻って、何度でもやり直しができること

更に、「自立する」ということと「メタ認知する力（自分自身の認知行動を把握することができる能力）が高い」というのは密接な関係があると考えています。自分のストロングポイントやウィークポイントひっくるめて自分を知り、自分を肯定できる力というのは、本当に大切なことです。

先日は、今年度最後の参観・懇談への参加、本当にありがとうございました。
いよいよ来月は「卒業式」そして「修了式」です。子どもたちの１年間の成長が実感でき、思い出に残る３月、そして「式」になればと考えています。

異学年との交流を行いました。

本校では、異学年との関わりを大切にし、児童会活動を中心に様々な場面で異学年の交流をしています。今後も取組を継続し、子供たちに相手意識をもたせ、思いやりや譲り合いの心をさらに育てていきたいと思います。

一・六年合同の豆まき集会

二年生が「おもちゃ大会」に一年生を招待しました。

児童会企画の異学年交流「仲間さがし」

生活リズムチェック習慣の結果について

項目 / 学年		①忘れ物	②学習時間（目安）学年＋10分	③学習目的以外でテレビを見たり，スマホ・ゲームなどを使用した時間（目安）2時間以内	④寝る時刻（目安）（1～3年生）睡眠時間が10時間以上（4～6年生）睡眠時間が9時間以上	⑤起きる時刻	⑥朝食
1年	9月	4.6	4.3	3.6	3.6	4.1	4.9
	今回	**4.5**	**4.3**	**3.6**	**3.3**	**4.1**	**4.9**
2年	9月	4.4	4.0	3.3	3.6	4.2	4.7
	今回	**4.2**	**4.2**	**3.4**	**3.5**	**4.1**	**4.9**
3年	9月	4.1	3.8	3.5	3.2	4.2	4.8
	今回	**4.0**	**3.6**	**3.5**	**3.4**	**4.2**	**4.9**
4年	9月	3.9	3.4	3.3	3.2	3.9	4.9
	今回	**3.8**	**3.4**	**2.9**	**3.3**	**4.1**	**4.8**
5年	9月	3.9	3.7	3.3	3.2	3.9	4.6
	今回	**4.1**	**3.6**	**3.4**	**3.4**	**3.9**	**4.7**
6年	9月	4.3	3.2	2.9	3.6	4.1	4.7
	今回	**4.4**	**3.2**	**2.7**	**3.8**	**4.0**	**4.6**
全体	9月	4.2	3.7	3.3	3.4	4.1	4.8
	今回	**4.2**	**3.7**	**3.3**	**3.5**	**4.1**	**4.8**

9月と結果を比較しています。5日間，各項目の目標を達成できたら5点満点となり，上の表は，その平均を出しています。ピンク色は前回と比較し、0.2以上上がっている項目、青は0.2以上下がっている項目です。

東光中学校区（千代田小、東光中、啓明小）では，生活リズムチェック週間の取組を１月２０日～２４日の５日間に実施し、６つの項目について目標を達成できたかどうかをチェックしました。今回の取組について、記録シートの「反省」や「おうちの人から」の欄から，多くの家庭で意識して取り組んでいた様子が伺えました。また、この週間をきっかけに家庭での生活を見直す働きかけをしていただいたご家庭も多くあったようでした。声掛けやご協力、本当にありがとうございました。

今回の週間の結果は、以下の通り、前回９月の結果と比較できるように提示しています。

学習については、学年が上がるにつれ、十分な学習時間が取れていないことが見受けられます。自分で課題を見付け、個に合った学びをする力を身に付ける必要があります。

また、生活習慣では、高学年は、適切な時刻に就寝する習慣が身に付いてきた一方、低学年では遅い時刻まで起きている児童がいることが分かりました。これでは、十分な睡眠時間が確保できていない可能性があります。休日でもなるべく決まった時間に寝起きすることで、生活リズムを整えることができます。

また、朝食を毎日食べている児童がいる一方で、日によっては欠食の児童もいることが分かりました。朝食は一日のエネルギー源となり、学習や運動の質にも大きく影響するため、重要な生活習慣のひとつです。生活リズムの改善は、健康的な成長や学習意欲の向上につながります。ぜひご家庭でも意識して取り組んでいただければと思います。今後もご家庭での働きかけをよろしくお願いいたします。

お子さんの健康を守るために
～髪や爪を染めることについて

昨今は個人の考え、多様性が重視されることが多くなってきています。小学校の現場でも話す言葉が違う（母国語が違う、方言がある…など）、肌の色も人それぞれであり、国籍もいろいろ。いろいろな子供たちが一緒に学んでいます。日本にある小学校であっても、学ぶ子供たちは千差万別。

個性を重視する時代ではありますが…。保護者の看護の下一生懸命成長している子供たちの髪の色はどのように捉えたらいいのでしょうか。また、爪にネイルを塗って学校に来ることはどのように捉えたらいいのでしょうか。

休日にイベントがあり、髪や爪をおしゃれにすることはあるのでしょう。きっとメイクもばっちり決めてステージに上がっていることでしょう。でも、月曜日の登校の際にはメイクをしてくる子供はいません。きっと、休日の活動と平日の学校とできちんと線引きをしているのでしょう。

学校としては、染色による頭皮の刺激性接触皮膚炎の懸念があることから、子供たちの髪を染めることは推奨していません。（千代田っ子の約束に記載）おしゃれのために髪を染めることは義務教育の期間が過ぎてからでもいいのではないでしょうか。

ご家庭でもお子さんと一緒に話題にしていただけるといいですね。

3月行事予定は、2次元コードからお願いします。